

# KiKiの広場

2024年 2月 1日  
cafe NO.160  
KiKi



元旦の地震から1カ月経ちました。被害を受けた方々のことを思うと、胸が張り裂けそうになります。家族が、1年で一番穏やかな気持ちで集う、まさにその幸せな瞬間に……。なぜ？ どうして？……。考えただけで苦しく涙が出てきます。

ライフラインを始め復興への道のりは、険しく遠いと思われれます。被災地に想いを寄せながら、今私たちにできることを一生懸命考えたいと思います。

## 2月の予定

休館日	13日(火)
定休日	毎土・日・月曜日



## 「気まぐれシェフの KIKI オリジナルシフォンケーキ」

「**ハッピーチョコシフォンケーキ**」 300円

ココア生地チョコチップを混ぜ込んだ、しっとりフワフワなシフォンケーキです。チョコチップはちょっとビターでオトナ味です。



## 今月のお気に入り…「いろいろな冬を楽しもう!! Part2」



～「14ひきのさむいふゆ」「ねずみくんとゆきだるま」「きらきら」「チョコレートのまち」「黒ねこのおきゃくさま」などなど～



14ひきシリーズの「14ひきのさむいふゆ」。外は雪に埋もれた白い世界、中はストーブの温もりほかほかのオレンジ色の世界。絵を通して暖かさが伝わってくるようです。どのシリーズもそうですが、繰り返し隅々まで絵を楽しめる本です。ねずみくんシリーズの15冊目は、「ねずみくんとゆきだるま」。身体の小さいねずみくんは何をしてもみんなにかなわないけれど、いつも大逆転して笑わせてくれます。さて、今回の結末はどうなるでしょうか。



## 今月の本棚…「鬼の絵本を楽しもう!!」

～「鬼の首引き」「おにのめん」「ソメコとおに」「鬼が出た」「いっすんぼうし」「だごだごごろごろ」「まゆとおに」などなど～



鬼の娘が初めて人を食べる「お食い初め」。その餌食となった若者と、鬼たちとの攻防を描いた「鬼の首引き」は、狂言から生まれた絵本だそうです。娘を思う父親と恥ずかしがり屋の娘とのやり取りも面白く、井上洋介さんの絵がコミカルで鬼たちも憎めない、何とも言えない楽しい絵本です。

「おにのめん」は、川端誠さんの落語絵本です。実は読む時期としては年の瀬にピッタリなんです。鬼の面だけでなく福の面も出てくるので、節分でも読みたくなる絵本です。さすが落語絵本だけあって、オチがまた最高です。



## ほっとフレイク

昨年暮れにも「村野建築」の見学者がいましたが、今年に入ってから各地から来館者が続いています。四国からお母さまと2人で来られた方は、「村野藤吾」が好きでめったにこちらに来ることがないので寄らせてもらった。建築の仕事をしているそうですが、地下のドアの微妙なカーブに目を止められて、「今はこのような作り方はしないですね、必要のないカーブだから。地下のドアにあえてこういう装飾がしてあるって、面白いですね。」と言われていました。お母さまに1つずつ丁寧に説明をされ、お母さまが笑顔で頷いておられる様子にほのぼのしました。車で徳島から来られたとのことですが、年をとってからも親子で一緒に旅行を楽しめるっていいですね。

他にも東京や横浜から女性の建築家の方が来られましたが、外から夜間窓口のところにあるデザインを熱心に見られたり写真を撮られたりしていました。イベントホール天井の八角形のデザイン同様、村野藤吾の意匠としてヒストリアの顔になっているようです。



今月もすでに見学の予約が数件入っています。村野藤吾自身が「出世作」と語る渡辺翁記念館など、宇部市にとって深いつながりがある「村野建築」。携われることに感謝しながら、今後も大切に過ごしていきたいと思ひます。